

中部を拠点に観光振興、北陸復興支援へ



日本政府観光局(JNTO) 理事長 蒲生 篤実氏



日本旅行業協会(JATA) 会長 高橋 広行氏



日本観光振興協会 理事長 最明 仁氏



鼎談は東京のJATA本部で実施

主催3団体特別鼎談

「(司会)山本 森田 淳 現在の観光・旅行市場の動向について、どのように捉えているか。国内旅行、海外旅行、訪日インバウンドを含めた現状認識をお聞かせください。

高橋 最近よく「インバウンド」で観光の現状を一言でどう表すと聞かれるが、「好調、堅調、低調」と答えている。

訪日インバウンドは好調。昨年、史上最高を記録したが、今年はそれをさらに上回る勢いで伸びており、これはの手戻り調整を推している。

国内旅行は堅調。昨年、旅行者数がコロナ禍前の水準に戻り、旅行単価の上昇によって消費額がさらに伸びている。今年もその勢いは続いている。

問題はアウトバウンドで、これは「低調」だ。回復は徐々に進んでいるが、コロナ禍前の水準には及んでいない。昨年は約5割程度回復した。

JATAはアウトバウンド回復へさまざまな取り組みを進めている。

高橋 「もっと海外へ」キャンペーンを、旅行業界にとりまわす。航空会社、航空会社などと共に業界を挙げて展開している。主要企画として、新バスポート取得サポートを実施。また、タレントの岩田剛典さんに「海外旅行インバサダー」

「ツーリズムEXPOジャパン2025愛知・中部北陸」が9月25(Thu.)-28(Sun.)、愛知県常滑市の「Aichi Sky Expo」(愛知スカイエキスポ)愛知県国際展示場)で開催される。本紙は開催を前に、恒例の主催3団体のトップらによる鼎談を実施。好調な訪日インバウンド、回復途上の海外旅行、そして人手不足やオーバーツーリズムといった課題を抱える国内旅行。それぞれの現状と未来、そしてツーリズムEXPOジャパンが果たすべき役割について語っていただいた。

——(司会)山本 森田 淳 現在の観光・旅行市場の動向について、どのように捉えているか。国内旅行、海外旅行、訪日インバウンドを含めた現状認識をお聞かせください。

高橋 最近よく「インバウンド」で観光の現状を一言でどう表すと聞かれるが、「好調、堅調、低調」と答えている。

訪日インバウンドは好調。昨年、史上最高を記録したが、今年はそれをさらに上回る勢いで伸びており、これはの手戻り調整を推している。

国内旅行は堅調。昨年、旅行者数がコロナ禍前の水準に戻り、旅行単価の上昇によって消費額がさらに伸びている。今年もその勢いは続いている。

問題はアウトバウンドで、これは「低調」だ。回復は徐々に進んでいるが、コロナ禍前の水準には及んでいない。昨年は約5割程度回復した。

JATAはアウトバウンド回復へさまざまな取り組みを進めている。

高橋 「もっと海外へ」キャンペーンを、旅行業界にとりまわす。航空会社、航空会社などと共に業界を挙げて展開している。主要企画として、新バスポート取得サポートを実施。また、タレントの岩田剛典さんに「海外旅行インバサダー」

アウトバウンド回復が課題 需要に応える体制づくりを 訪日伸長を魅力的プロモで

高橋 最明 蒲生

日本の観光振興は、訪日客の増加と海外旅行の回復の両輪で進んでいる。今年もその勢いは続いている。問題はアウトバウンドで、これは「低調」だ。回復は徐々に進んでいるが、コロナ禍前の水準には及んでいない。昨年は約5割程度回復した。

JATAはアウトバウンド回復へさまざまな取り組みを進めている。

高橋 「もっと海外へ」キャンペーンを、旅行業界にとりまわす。航空会社、航空会社などと共に業界を挙げて展開している。主要企画として、新バスポート取得サポートを実施。また、タレントの岩田剛典さんに「海外旅行インバサダー」

この問題を解決するには、観光行政だけでなく、国土交通行政や、経済産業省、農林水産省なども巻き込んだ取り組みが不可欠だと考えている。

地方の公共交通では、生活路線への補助に行政の意識が向かっている。観光の方針も散見される。生活と観光が両立できるような環境を作ることが、

蒲生 インバウンドは、月別のデータで過去最高を更新し続けている。ただ、この勢いがいつまで続くかは注視が必要だ。地方での旅行者1人当たりの消費額が年々減っているのは、この傾向も懸念される。観光振興は、単に訪日客数を伸ばすだけでなく、滞在期間を長くし、消費額を増やすことが必要だと考えている。

——(司会)山本 森田 淳 現在の観光・旅行市場の動向について、どのように捉えているか。国内旅行、海外旅行、訪日インバウンドを含めた現状認識をお聞かせください。

高橋 最近よく「インバウンド」で観光の現状を一言でどう表すと聞かれるが、「好調、堅調、低調」と答えている。

訪日インバウンドは好調。昨年、史上最高を記録したが、今年はそれをさらに上回る勢いで伸びており、これはの手戻り調整を推している。

国内旅行は堅調。昨年、旅行者数がコロナ禍前の水準に戻り、旅行単価の上昇によって消費額がさらに伸びている。今年もその勢いは続いている。

問題はアウトバウンドで、これは「低調」だ。回復は徐々に進んでいるが、コロナ禍前の水準には及んでいない。昨年は約5割程度回復した。

JATAはアウトバウンド回復へさまざまな取り組みを進めている。

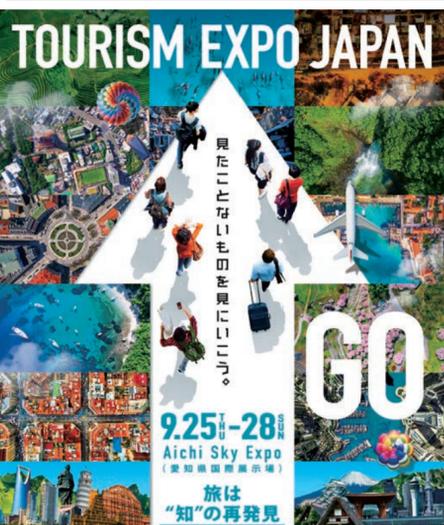
高橋 「もっと海外へ」キャンペーンを、旅行業界にとりまわす。航空会社、航空会社などと共に業界を挙げて展開している。主要企画として、新バスポート取得サポートを実施。また、タレントの岩田剛典さんに「海外旅行インバサダー」

この問題を解決するには、観光行政だけでなく、国土交通行政や、経済産業省、農林水産省なども巻き込んだ取り組みが不可欠だと考えている。

地方の公共交通では、生活路線への補助に行政の意識が向かっている。観光の方針も散見される。生活と観光が両立できるような環境を作ることが、

蒲生 インバウンドは、月別のデータで過去最高を更新し続けている。ただ、この勢いがいつまで続くかは注視が必要だ。地方での旅行者1人当たりの消費額が年々減っているのは、この傾向も懸念される。観光振興は、単に訪日客数を伸ばすだけでなく、滞在期間を長くし、消費額を増やすことが必要だと考えている。

14面に続く



ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸

9.25(Thu.)-28(Sun.) Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)

ツーリズムEXPO 検索

9月25日(木)・26日(金)は、業界関係者のみの展示商談会となり、一般の方は入場できません。

9月27日(土)・28日(日)一般日入場料(税込) 当日入場券:1,300円 / 前売入場券:1,000円

お問い合わせ ツーリズムEXPOジャパン推進室 TEL:03-5510-2004 event@t-expo.jp

【主催】公益社団法人日本観光振興協会 / 一般社団法人日本旅行業協会 / 日本政府観光局 【特別協力】一般社団法人全国旅行業協会 【特別賛助】愛知県

【開催支援】TEJ2025愛知・中部北陸 開催地連絡協議会 【後援】国土交通省 / 国土交通省観光庁 / 総務省 / 外務省 / スポーツ庁 / 文化庁 / 厚生労働省 / 農林水産省 / 経済産業省 / 環境省 / 一般社団法人中央日本総合観光機構 / 一般社団法人愛知県観光協会 / 独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ) / 一般社団法人日本経済団体連合会 / 一般社団法人中部経済連合会 / 北陸経済連合会 / 日本商工会議所 / 東京商工会議所 / 名古屋商工会議所 / 一般社団法人日本コンベンション協会

